

【閲覧用】 第17回善行市民センター・公民館建設検討委員会 議事概要	
日 時	2017年4月28日（金） 18時00分から19時30分
場 所	善行市民センター 第2談話室
出席者	<p>地域：定永委員（郷土づくり推進会議議長）、植木委員（自治会連合会会長）、田代委員（社会福祉協議会会長）、阿部委員（公民館評議員会副議長）、志村委員（善行町内会会長）、温井委員（地区代表）、宮田委員（地区代表）、小林委員（地区代表）</p> <p>市側：藤本市民センター長（善行市民センター）、宮原参事（市民自治推進課）、塩原参事、黒澤課長補佐（生涯学習総務課）、高橋館長、岡田主幹補佐（総合市民図書館）、平井参事（地域包括ケアシステム推進室）</p> <p>事務局：【善行市民センター】 藪内主幹、青木センター長補佐、広岡 【市民自治推進課】 大岡主幹、栗田主査</p> <p>その他：【公共建築課】 岡主幹、新木課長補佐、屋敷主査、中峰主任 【(株)国設計】 中川、本田</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 建設検討委員会委員長あいさつ 3 出席者自己紹介 4 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 基本設計書について (2) 今後のスケジュールについて (3) 外観及び内観デザインの確認について (4) その他 5 閉会
配布資料	<p>資料1-① 公開 善行市民センター改築に伴う実施設計スケジュール（H29.04.28版）</p> <p>資料1-② 公開 検討案1階平面図、検討案2階・3階平面図</p> <p>資料1-③ 公開 外観パース、内観パース</p> <p>資料2 公開 第17回善行市民センター・公民館建設検討委員会出席者名簿</p> <p>善行市民センター・公民館改築事業地区全体説明会について（お知らせ） ※地区回覧用</p>

議事概要

(1) 基本設計書について

- ・市民自治推進課より説明

3月末に基本設計書が完成した。この基本設計書を基に実施設計を検討していく。

(2) 今後のスケジュールについて

- ・資料1-①について国設計から説明

〈建設検討委員会について〉

(国設計) 建設検討委員会については、4・5・6月の3ヶ月で議論を行い、実施設計を進めていく。第18回では、「各室の利用に関する方法、使い方、使われ方について」を議題に追加して議論していく

〈藤沢市特定開発条例手続き等について〉

(国設計) 今回は3,000㎡を超えた建物のため、藤沢市特定開発条例の手続きによって業務を進める。5月30日前後に敷地に「特定事業お知らせ看板」を設置し、6月10日午後に「特定開発条例に基づく説明会」の開催を予定。工事期間、日影規制、電波障害について説明を行う。仮にこの計画によって電波障害が発生した場合は何らかの対応を行うが、平和台住宅が建っていた状態と今回の建物はほぼ同じ高さのため、影響範囲はほぼ変わらない。

〈実施設計について〉

(国設計) 実施設計に入ると基本設計と違い、構造設計や設備設計などといった委員に説明をしていくものではなく、引き続き詳細な図面作成作業を行う。来年の2月28日までに設計を一式取りまとめる。

(地域委員) 実施設計の契約期間は2月28日で図面、積算完了。仮に積算した結果、予定した金額を超えてしまい、設計変更を行う必要が発生した場合には、建設検討委員会を、再度開催して了解を得て設計変更する。

(3) 外観及び内観デザインの確認について

- ・資料1-②、資料1-③について国設計から説明

〈外観について〉

(国設計)

基本的な考え方は基本設計段階と変更無く、素材感を大事にする事を考える。緑の自然とよく合った素材感のある外壁面ということと、一部金属葺きで、少し赤みのあるような外壁を提案する。

北側1階は、開放的なガラス窓等を使って中の様子が良く見えるようにする。

南側は、近隣の皆様への視線の配慮があるため、ある程度光を確保した上で、窓を分散配置したり、ルーバーを付けることによって人の視線をカットするなど、近隣への影響等を踏まえた上で検討して行く。樹木に関してもこれからの外構計画で検討していき、特徴あるデザインや、環境を踏まえた植栽帯などでアクセントをつけていくことを主旨として外観を考える。

〈エントランスホール、ぜんぎょうプラザ、コモンスペースについて〉

(国設計)

木を使った温かみのある素材感を重視して計画を進めていく。

エントランスホールの床は、外部から入って来るので耐候性も考えタイルを使い、天井には木を使えないか考えている。

エントランス正面の2本の柱は大黒柱と位置付け、デザイン的に工夫をしたい。

ぜんぎょうプラザの吹き抜け空間は、天井の高さが約7mある。貴重な大きい壁があるため、作品の展示利用などのデザインを考えていきたい。

コモンスペースは間仕切りなどで造り込んでしまうのではなく、シンプルで色々な使い勝手に対応できるようにしたい。

(地域委員) 柱は、四角では危ないので丸柱にしてほしい。

(地域委員) 丸になるべく近づける事でもっと安全性を保てるようにしてもらおう。丸だと支障はないが、大きくなる問題が残る。

(地域委員) 公民館まつり等での作品展示が簡単に出来る場所はあるか。

(国設計) 吹き抜け位置の壁などが考えられるが、壁の使い方については十分ヒアリングを行い、有効に変える壁を検討していきたい。

〈エレベーターについて〉

(地域委員) エレベーター乗場の脇のポンプ室の扉は止めたい。エレベーターと階段をシースルーエレベーター、シースルー階段にしたい。ぜんぎょうプラザの吹き抜け部分には、大きな壁面があるのでタペストリーを壁に貼ってデザインをするなどの検討して欲しい。トイレへの出入口は壁がただあるだけでは無く、アールをつけて可愛く、柔らかくしたい。

(公共建築課) シースルーエレベーター、シースルー階段は予算等を見ながら検討していきたい。

(地域委員) 積算段階で金額面に問題があればガラス面からコンクリートに変更するが、最初はシースルーで考えたい。

〈市民図書室について〉

(地域委員) 図書室の、扉の高さはいくつか。また両開きの扉は自動ドアか。

(国設計) 高さは2.7m。自動か手動これから検討する。

〈木材について〉

(国設計) 共用部に全面的に木を貼って使うと重くなり、声が反射してしまうのでルーバー状にして、効果的に木を使っているのを感じるようにしたい。

(地域委員) 県産木材を使うという話は怎么样了か。

(公共建築課) 県産木材を使うという話はあるが、実際は納期の問題があるのでなかなか難しい。

(国設計) 木材についてはどの場所にどのような樹種を使うか検討し、効果的に多く使いたい。

〈健康プラザ北側の出入について〉

(国設計) 基本設計段階では北側道路から入れる形になった。センター敷地北東側のT字路交差点付近に出入口が作れないのか検討しているが、小田急線側の横断歩道を動かせるのかどうか、またT字路交差点付近とセンター敷地の高低差が1.5mから1.7m近くあるため、警察との協議も含めて検討する。まだこの計画で行けるというものではない。

(地域委員) 健康プラザを北にずらすことは出来ないか。

(国設計) 健康プラザを縮めれば可能だが、北にずらすのは施工を考えると厳しい。

〈備品について〉

(地域委員) 4人掛けのテーブルを6人掛けのテーブルに変更して欲しい。

(善行市民センター) 次回の委員会で造り付け家具を話は行っていくが、備品購入はまだ先の話ですので。そのタイミングで詳しく話す。

(4) その他

①会議の公開について

→ (市民自治推進課) 辻堂市民センターの建設検討委員会は非公開として会議を進めてきたが、5月の建設検討委員会から基本的に公開にシフトする。

→本年度より建設検討委員会は公開により行う。

②地区全体説明会について

→ (善行市民センター) 6月10日(土)に地区全体説明会を開催する。今回の内容は基本設計について少しふれ、実施設計の検討の状況を住民にお知らせする予定。

※次回会議 5月29日(月) 18時から

当初にお知らせしていた日程と変わっているので注意

以 上